

姉の雪辱を果たして、新女王誕生



第21回秋華賞(GI) 優勝馬 ヴィプロス

戦いが進むにつれて有力馬の怪我が相次いだこの年の3歳牝馬戦線。最後の一冠である秋華賞は、まずはゲートインに向けたサバイバル合戦が繰り広げられた。

2歳女王でNHKマイルカップの覇者メジャーエンブレムは、放牧中に左後肢を痛めて戦線を離脱しており、オーパス2着のチェックノモ怪我で長期休養に入っていた。オーパス馬シンハライトも、トライアルのローズステークスを諂まじい追い込みで制しながら、本番まで2週間を切ったタイミングで屈腱炎を発症。逆に桜花賞馬ジュエラーは骨折から復帰こそ果たしたものの、ローズステークスは11着と大敗し、完全復活とまではいかず。1番人気の座には、トライアルの紫苑ステークスを快勝してここに臨んできたビッシュが座ることとなった。

レースを先導したのは、ローズステークスで2着に逃げ粘ったクロコスマニアだった。道中、隊列はほとんど変わらず。絶妙なペースで逃げた岩田康誠騎手は、3コーナーから徐々に加速し、直線で後続を突き放しにかかる。これに先団から抜け出して襲いかかったのはカイザーバル。連れてバルコードも迫る。内からはジュエラーが鋭く伸びてくる。しかし、これらを外からまとめて交わしたのがヴィプロスだった。道中は中団に待機し、勝負どころで少しずつポジションを上げたヴィプロスは、直線残り200mでスパート。圧倒的な瞬発力で一気に先頭に立ち、そのままゴールを駆け抜けた。後方で末脚勝負にかけたビッシュは伸びを欠き、10着に終わった。

ヴィプロスの全姉ヴィルシーナは、2012年秋華賞でジェンティルドンナにハナ差の2着。姉妹両馬のオーナーである元メジャーリーガー、佐々木主浩氏が「秋華賞への思いは強かったです」と語ったように、まさに姉の雪辱を果たす勝利となった。その姉は2歳の早い時期から頭角を現し、牝馬三冠にも奮闘してすべて2着と好走しながら、初GI勝ちは4歳まで待たなければならなかった。それに対してヴィプロスは、3歳夏から急成長を遂げ、GI初挑戦でいきなりのタイトル獲得となった。

終わってみれば、1~3着馬はすべて春のクラシック不出走馬。新女王の座を争った一戦は、まさに新しい力が台頭する結果となった。



▲ヴィプロス(帽色・青・左)は中団からスムーズに差を詰め、最後の直線勝負に賭ける。

第21回秋華賞(GI)

10/16 京都競馬場 2000m(芝・右) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ヴィプロス	牝3	55	福永 祐一	友道 康夫	1:58.6	③	9 9 8 8
2	バルコード	牝3	55	川田 将雅	中内田充正	1/2	④	7 5 7 6
3	カイザーバル	牝3	55	四村 洋文	角居 勝彦	1/2	⑧	7 5 5 5
4	ジュエラー	牝3	55	M. デムーロ	藤岡 健一	クビ	②	10 9 11 10
5	レッドアヴァンセ	牝3	55	武 豊	音無 秀季	1 3/4	⑤	12 11 11 10
6	クロコスマニア	牝3	55	岩田 康誠	西浦 勝一	1/2	⑩	1 1 1 1
7	バーシーズベスト	牝3	55	C. ルメール	石坂 正	クビ	⑨	17 17 18 16
8	ミエノサクシード	牝3	55	川島 信二	高橋 亮	クビ	⑦	10 11 14 13
9	デンコウアンジュ	牝3	55	内田 博幸	荒川 義之	クビ	⑥	17 17 16 16
10	ビッシュ	牝3	55	戸崎 圭太	鹿戸 雄一	クビ	①	13 15 10 10
11	キンショショウキヒメ	牝3	55	松若 風馬	中村 均	1/2	⑯	6 8 8 8
12	ワインファビラス	牝3	55	松岡 正海	畠山 吉宏	3/4	⑯	3 2 4 2
13	ゲッカコウ	牝3	55	和田 竜二	高橋 義博	アタマ	⑯	16 14 15 14
14	フロンテアクイーン	牝3	55	蜷名 正義	国枝 栄	1 1/4	⑫	13 11 11 14
15	ダイワドレッサー	牝3	55	川須 栄彦	鹿戸 雄一	1 1/4	⑯	4 4 2 2
16	エンジエルフェイス	牝3	55	浜中 俊	藤原 英昭	9	⑪	4 5 6 6
17	ネオヴェルザンディ	牝3	55	松山 弘平	鹿戸 雄一	1 1/4	⑰	2 2 2 2
18	ワンダービルエット	牝3	55	小牧 太	小崎 恵	1 1/2	⑯	13 15 16 18

単勝⑦630円 複勝⑦220円 ③380円 ⑯480円 枠連(2-4)1,870円

馬連③-⑦3,550円 馬単⑦-③6,170円 ワイド③-⑦1,110円 ⑦-⑯1,790円 ③-⑯2,950円

3連複③-⑦-⑯20,940円 3連単⑦-③-⑯95,520円

ハロンタイム 12.4-10.5-12.9-12.2-11.6-11.7-11.4-11.3-11.7

通過タイム 600m:35.8-800m:48.0-1000m:59.9-1200m:1:12.5-1400m:1:24.2-

1600m:1:35.6-1800m:1:46.9

優勝馬 ヴィプロス

2013.4.9生 父ディープインパクト 母ハルーフスヴィート 母の父Machiavellian
安平・ノーザンファーム生産 馬主:佐々木主浩氏



▲夏の成長を経てGI馬となったヴィプロス。